

起因物（小）別コードno.412 支保工労働災害発生状況

業種別支保工労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
010101 肉製 品、乳 製品製 造業																								
010102 水産食 料品製 造業																								
010103 農業保 存食料 品製造 業																								
010104 パン、 菓子製 造業													1											1
010105 酒類製 造業																								
010106 飲料 （酒類 を除 く）製 造業																								
010109 その他 の食料 品製造 業											1		1			1						1		4
0101 食料品 製造業											1		1	1			1						1	5

030103	地下鉄 建設工 事業		2	1		1	1	1	2	1				1							9		
030104	鉄道軌 道建設 工事業			1		1	1	1	1				1								5		
030105	橋梁建 設工事 業		8	3		8	8	6	2	1	6		4	2	1	3	4	5	3	2	3	69	
030106	道路建 設工事 業		10	11		7	9	9	5	5	2		3	3		5	2	2	2	1	3	7	86
030107	河川土 木工事 業		6	3		3	5	1	2	2	2	2		1	2	2	1	1	1		1	1	36
030108	砂防工 事業		6	3		2	2	2	3	1	1	1								1			22
030109	土地整 理土木 工事業		9	6		2	3	3	2	2	2	2	1	1	1		1	2	3	2	1		43
030110	上下水 道工事 業		38	18		10	7	15	14	17	5	6	4	7	4	9	2	2	3		2	3	166
030111	港湾海 岸工事 業		3	2		2	1	4		6	1			2	1		2		2	1	1		28
030199	その他 の土木 工事業		22	9		9	9	9	10	5	5	5	5	5	2	2	2	7	8	5	5		124

0301 土木工 事業			113		59		45	49	50	44	36	31	18	23	23	12	28	12	22	21	15	14	19	634	
030201 鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業			75		53		52	95	83	48	32	40	47	40	46	41	35	40	18	29	23	17	30	844	
030202 木造家 屋建築 工事業			6		6		3	3	6	2	4	1	3	2	3	2	3	1	2	2	1		1	51	
030203 建築設 備工事 業			1		2		2	1	2	1			1	1	1	1		1		1	1		2	18	
030209 その他 の建築 工事業			9		5		6	8	5	2	6	4	3	5	2	5	4	5	3	2	3	1	3	81	
0302 建築工 事業			91		66		63	107	96	53	42	45	54	48	52	49	42	47	23	34	28	18	36	994	
030301 電気通 信工事 業							1													1				2	
030302 機械器 具設置 工事業																				1	1		1	3	
030309 その他 の建設 業－そ の他			1		4		3	2	2	1	1	2	1		1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	28

0303 その他の建設業			1		4		4	2	2	1	1	2	1		1	1	2	1	2	3	1	2	2	33
03 建設業			205		129		112	158	148	98	79	78	73	71	76	62	72	60	47	58	44	34	57	1,661
040101 鉄道・軌道業																								
040102 水運業																								
040103 航空業																								
0401 鉄道・軌道・水運・航空業																								
040201 ハイヤー・タクシー業																								
040202 バス業																								
040209 その他の道路旅客運送業																								
0402 道路旅客運送業																								
040301 一般貨物自動車運送業					2		1	1	1			1			1				2					9

通信業																							
11 通信業							1						1										2
120101 自動車 教習所																							
120102 ソフト ウェア 業																							
120109 その他 の教育 研究業																							
1201 教育・ 研究業																							
12 教育 研究業																							
130101 病院				1															1	1		3	
130102 一般診 療所																							
130109 その他 の医療 保健業						1																	1
1301 医療保 健業				1		1													1	1		4	
130201 社会福 祉施設				1			1					1	1			1					1		6
1302 社会福 祉施設				1			1					1	1			1					1		6
130301 浴場業															1								1

17 その 他の事業																								
0 全産業	5	2	7	3		4		2	1	1	2	2	3	7	1	1	2		2				1	46

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> (MHLW, Japan)

支保工を起因物（小）とする死亡災害事例（2012-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規 模
2012	12	14 ～ 15	立坑内で土止め支保工のうち、地上から約7m下にある4段目の腹起し（上下2本組のH鋼、一本当たり長さ約8m、重さ約1t）を作業員3人で解体中、その2本組の腹起しが動いて玉掛作業のため待機していた被災者に激突した。腹起しは、元々、ブラケット上で、グラウンドアンカーにより両端と中央の3点を固定していたが、解体のため既に片端と中央を溶断し残り1つの状態となっていた。	30199	6	10 ～ 29
2012	7	10 ～ 11	土止め支保工の設置（切り梁撤去のための、一部切り梁の盛り替え工事）のため、腹おこしの上に乗って、ハンマー（約5kg）で切り梁と腹おこしを繋ぐ部分を叩いて締めていたところ、ハンマーを空振り、腹おこしから約6m下の川（水深は膝以下）に墜落し死亡した。	30107	1	10 ～ 29
2012	2	12 ～ 13	製油所の工場間を結ぶ海底の配管用施設をシールド工法にて施工中、シールドマシンの付近から何らかの要因で異常出水し、発進立坑（直径11m、深さ34m）の海水面レベルまで冠水した。これにより、シールドトンネル（完成時の延長790m、災害時約160m到達）内にて作業を行っていた作業員6名中5名が行方不明となり、数日のうちに5名全員が遺体で発見された。	30102	5	100 ～ 299
2012	2	12 ～ 13	製油所の工場間を結ぶ海底の配管用施設をシールド工法にて施工中、シールドマシンの付近から何らかの要因で異常出水し、発進立坑（直径11m、深さ34m）の海水面レベルまで冠水した。これにより、シールドトンネル（完成時の延長790m、災害時約160m到達）内にて作業を行っていた作業員6名中5名が行方不明となり、数日のうちに5名全員が遺体で発見された。	30102	5	30 ～ 49
2012	2	12 ～ 13	製油所の工場間を結ぶ海底の配管用施設をシールド工法にて施工中、シールドマシンの付近から何らかの要因で異常出水し、発進立坑（直径11m、深さ34m）の海水面レベルまで冠水した。これにより、シールドトンネル（完成時の延長790m、災害時約160m到達）内にて作業を行っていた作業員6名中5名が行方不明となり、数日のうちに5名全員が遺体で発見された。	30102	5	30 ～ 49
2012	2	12 ～ 13	製油所の工場間を結ぶ海底の配管用施設をシールド工法にて施工中、シールドマシンの付近から何らかの要因で異常出水し、発進立坑（直径11m、深さ34m）の海水面レベルまで冠水した。これにより、シールドトンネル（完成時の延長790m、災害時約160m到達）内にて作業を行っていた作業員6名中5名が行方不明となり、数日のうちに5名全員が遺体で発見された。	30102	5	100 ～ 299
		12	製油所の工場間を結ぶ海底の配管用施設をシールド工法にて施工中、シールドマシンの付近から何らかの要因で異常			100

2012	2	～ 13	出水し、発進立坑（直径11m、深さ34m）の海水面レベルまで冠水した。これにより、シールドトンネル（完成時の延長790m、災害時約160m到達）内にて作業を行っていた作業員6名中5名が行方不明となり、数日のうちに5名全員が遺体で発見された。	30102	5	～ 299
2013	5	8 ～ 9	坑外でのセントル解体作業に係る災害。被災者は、災害発生直前H鋼とサイドパネルの連結ボルトを外す作業を行っていたが、一部が外れなかったため、別の作業者がバールで連結を解いたところ、H鋼及びジャッキが落下。その際、H鋼を保持していた2ヶ所のチェーンが両方とも破断し、サイドパネルが急激にガントリー側に傾いた。被災者は、セントル側足場で足場の結束作業を行っていたが、サイドパネルとガントリー側足場の間に挟まれた。	30102	7	1～ 9
2014	3	9 ～ 10	トラッククレーンで根太材用の単管パイプ100本を、躯体外周の大引きの上に置き、被災者が玉はずしの作業を行っていたところ、支保工が外側に向かって崩壊。被災者は高さ約3.9メートルの位置から墜落し、落下した根太材の下敷きになった。	30201	5	1～ 9
2015	7	10 ～ 11	下水道管の更新工事に伴い、地下に埋設された管の撤去を行うため、道路をドラグショベルで開削（長さ6.7m、幅2.1m、深さ2.5m）し、山留のためにドラグショベルで鋼矢板を打設した後に、被災者と同僚の2名で溝内に入り、腹起し角パイプを取付け、切ばりを取付けようとしていたところ、土止め支保工が崩壊し、鋼矢板と腹起しの間に首がはさまれた。その後、救出され病院へ搬送されたが同日午後1時17分に死亡した。	30110	5	10 ～ 29
2015	10	9 ～ 10	震災で被害を受けた漁港内の棧橋式物揚場の新設工事において、棧橋上部の型枠支保工の支柱保持用に水中に設置したH鋼材上に渡していたバタ角材を撤去するため、被災者はH鋼（長さ7メートル、重量約651キログラム）を吊り下げている吊りセパ金具の下部ナットを緩めるために水中で電動インパクトレンチを使用してナットの吊り下げ位置を下げる作業を行っていた際に、H鋼が落下し、被災者が下敷きになったもの。	30111	4	1～ 9
2017	9	10 ～ 11	PC橋梁上部工のコンクリート型枠支保工解体中に、当該型枠支保工上部の作業床から仮設鋼材である横桁（110kg）とともに墜落した。支保工の仮設鋼材の解体は、スタクションと親綱が張っており、被災者と同僚作業員は3丁掛安全帯と墜落防止用保護帽を着用して作業を行っていたが、本横桁を横滑りさせた時には、安全帯を使用しておらず、横桁とともに約13m墜落したのち、約5mの土手を転落した。	30105	1	10 ～ 29
2017	1	14 ～ 15	鉄塔の基礎撤去工事中、基礎の土砂撤去をするために手掘りで土砂を撤去していたところ、土止め支保工が崩壊し、腹起し（H鋼）が頭部に直撃し死亡した。	30209	5	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html